

# まんがで分かる 写真の基本



講師：椎崎義之

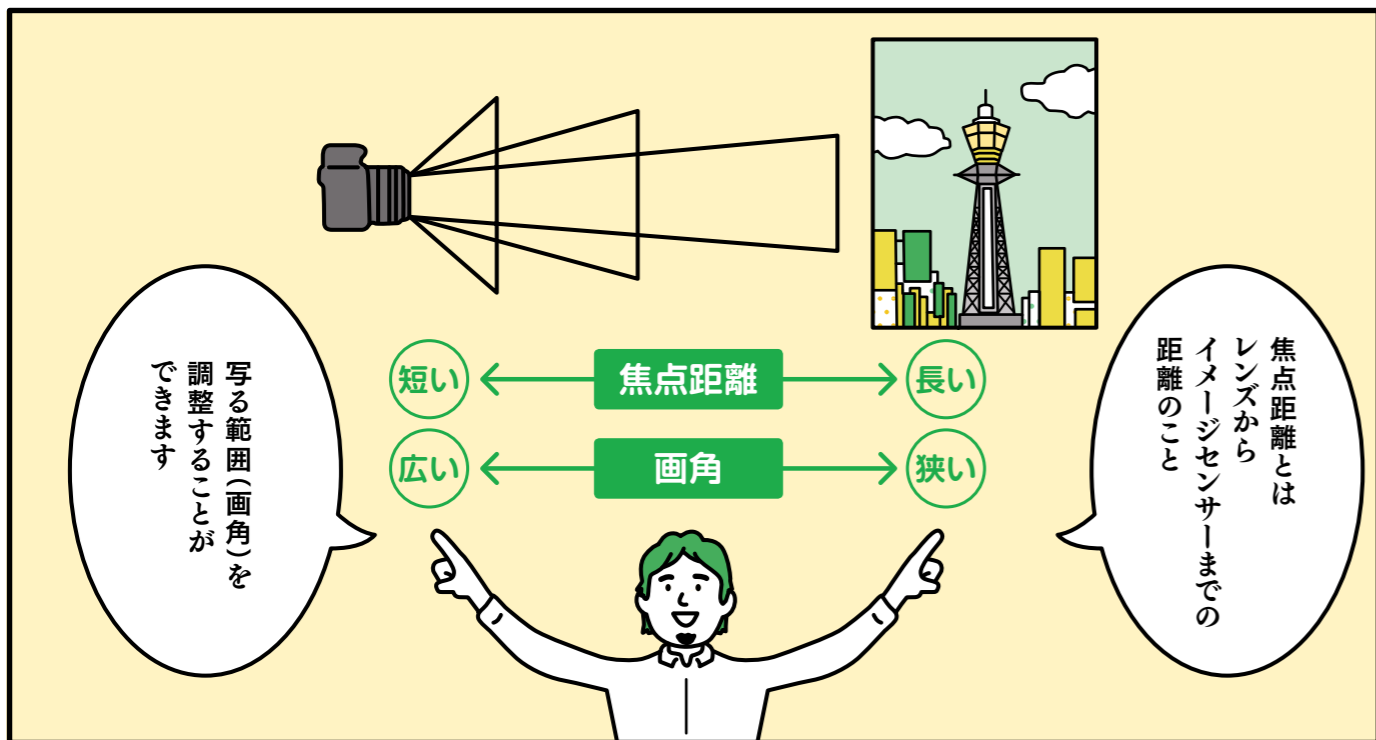


主人公：ヒカル君

和歌山県生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業後、同大学写真学科研究室を経て写真家として独立。作品制作や写真教室講師など幅広く活躍中。EOS学園大阪校講師。

EOS学園で写真の基礎を学び、身近な自然で実践的な撮影に挑戦。さらに表現の幅を広げるために、標準ズームレンズに加えて単焦点レンズを購入し、精力的に撮影を続ける。

季節は春。心地よい陽気に誘われてカメラを持ってぶらり撮影旅行に出掛けたヒカル君。旅先で偶然出会った写真家、椎崎義之先生に焦点距離と画角の関係を学びます。






本当に噴水と塔の間の距離が詰まったように感じます

望遠は写る範囲が狭くなり、遠くの被写体を大きく写せるので、近くへ寄れない場合に便利です

焦点距離 100mm (望遠)



岩と背景の距離感が全然違って見えます!

上の写真は砂浜の岩が同じ大きさになるように焦点距離を変えて撮りました

変わるのは被写体の大きさだけではありません

視野よりも少し広めに写ってる印象です

焦点距離 24mm

焦点距離 100mm



今回のヒカルメモ

- ✓ 焦点距離を調整すると写る範囲(画角)や被写体の写る大きさを変えられる
- ✓ 広角、標準、望遠それぞれの写りの目安を覚えておく
- ✓ 被写体と背景の遠近感を変えることもできる



こんな風に焦点距離による写り方の違いを覚えておくといいですよ

いざというときに迷わなくて済みますね



ハイ!

焦点距離を変えて写りにどんな変化が出るか試してみよう!




重要なのはどこをどんな風に写りたいかです



広角で撮ると背景がたくさん入り、広がり強調されます

標準はレンズの基本になる焦点距離で、実際に目で見るのに近い遠近感になります

焦点距離 24mm (広角)



確かに! 見たままの自然な写りだ

焦点距離 50mm (標準)

